|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 整理番号 | 前回認可申請における採取区域の該当の有無 | 場　　　　所 | 地　目 | 土地所有者  氏　　　名 | その他の権利の設定 | | 当該場所が第三者の所有の場合又はその他の権利者がいる場合の岩石  採取に関する契約書の内容 | | 備考 |
| 権利の種類 | 権利者氏名 | 相手方の氏名 | 契約書等に記載の採取期間 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（注）　１　採取場の全区域について，地番の若い順に整理して，土地の登記事項証明書，岩石の採取に関する契約書等の内容を記載すること。

　　　　　　　２　「前回認可申請における採取場区域の該当の有無」欄には，当該場所が前回認可を受けた採取計画において岩石採取場の区域となっている場合には「○」

　　　　　　　　を，そうでない場合は「×」を付けること。

　　　　　　　３　「その他の権利の設定」欄には，使用収益物件（地上権等）を記載し，担保物権（抵当権等）は記載しないこと。

　　　　　　　４　同一場所に，所有権者と岩石の採取に関する契約書等とその他の権利者との岩石の採取に関する契約書等の両方がある場合には，「当該場所が第三者

　　　　　　　　の所有の場合又はその他の権利者がいる場合の岩石の採取に関する契約書等の内容」欄は二段書きとすること。

　　　　　　　５　登記事項証明書における権利者の氏名と岩石の採取に関する契約書等における名義人の氏名が異なる場合は，名義人が正当な権利者であることを証する

　　　　　　　　書類を添付すること。

　　　　　　　６　一筆の土地の権利者（所有権者及びその他の権利者）が複数の場合，氏名欄は「○○外○名」（○○は権利者の内１名の氏名を記載する。）と記載する

　　　　　　　　ことができる。

　　　　　　　　　なお，岩石の採取に関する契約書等の添付が必要な場合には，契約書等において当該複数の権利者全員が契約書等の名義人となるか，又は，権利者か

　　　　　　　　ら名義人への委任状をさらに添付することが必要である。